

# みんなの「楽しい」が 見つかる文化のまち

むかし むかしの ことやねん……

むらびとがきたさかい

「らしようもんのおにといわれてるけど

ここのこどもだす おやじを

あんばいおたのみします」というた。

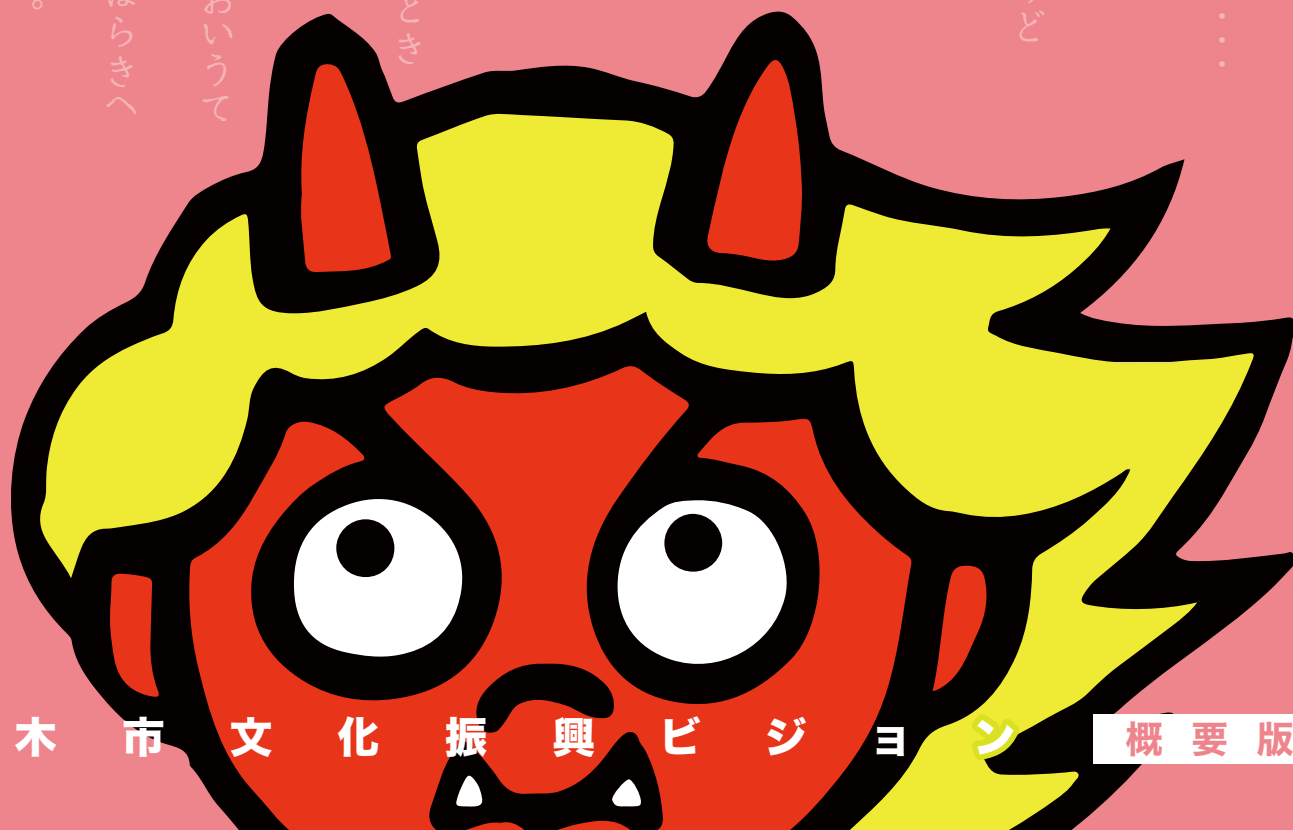
むらびとは「しんぱいらん ときどき

もどつといで」と やさしかった。

「いばらきは ええとこだすな」そおうて

いばらきどうじは ときどき いばらきへ

もどつて くるようになったそうな。



# 第1章 文化振興ビジョンの策定に当たって

古くからの歴史を持つ茨木市では、歴史遺産や文化的伝統が今もまちに息づいており、市民によるさまざまな文化芸術活動が大変盛んなまちでもあります。

文化芸術の振興は、まちを活性化させ、コミュニティを育み、市民生活に豊かさをもたらすものです。今まで培った素晴らしい文化資源を次世代に残し、文化によるまちづくりを積極的に進め、茨木市をより魅力的なまちにしていく必要があります。

これらのことを踏まえ、茨木市では文化のまちづくりの理念と目指すべき方向性や体制を定め、今後10年間の茨木市の文化芸術振興の指針となる「茨木市文化振興ビジョン」を策定しました。

## 第2章 茨木市の文化的特性

### 1 市民の活発な文化芸術活動

#### [1] 多彩な文化芸術活動

多くの市民による文化芸術団体が活動しており、演奏会や展覧会などの場を通じて、市民が多彩な文化芸術を楽しんでいます。

#### [2] 市民と市の協働による事業の実施

市の主催する事業において、市民団体・個人に演奏や作品を発表する場の提供を行うなど、市民による文化芸術活動を支える環境が整っています。



市立ギャラリーにおける展覧会

### 2 豊富な文化資源

#### [1] 歴史資源

太田茶臼山古墳(継体天皇陵)や、郡山宿本陣(樫の本陣)、千提寺・下音羽地区の「聖フランシスコ・ザビエル像」や「マリア十五玄義図」など、多くの歴史資源が残されています。

## [2] 茨木童子をはじめとした伝統文化資源

浄瑠璃音頭などの民俗芸能や、大岩太鼓など豊かな伝統文化資源が残されています。また、古くからの伝説とされる茨木童子は、市民にもよく知られています。

## [3] 川端康成とのゆかり

祖父の介護の日々を描写した『十六歳の日記』や、その祖父の骨あげをとおして生と死への思いも書かれた『骨拾い』などの作品でふるさとである茨木市に言及しています。

## [4] 大学等知的資源

各大学と「連携協定」を締結し、地域社会の発展や人材育成に取り組んでいます。

## [5] 新しい文化芸術の創出

若手芸術家の育成事業に力を注ぐ中で、まちなかで市民が文化芸術にふれる機会を作るとともに、新しい文化芸術が創出される環境が整っています。



木村 光佑・作「虹の塔」



聖フランシスコ・ザビエル像  
【国・重文／神戸市立博物館 蔵】



太田茶白山古墳(継体天皇陵)【宮内庁 所管】



市立川端康成文学館

# 3

## 地理的条件



北大阪地域の中核都市として発展し、大阪や京都までの交通の利便性は高く、通勤や買い物にも便利な生活しやすいまちとなっています。また、多くの市民が市内のみならず、市外でも文化芸術を楽しんでいます。

## 第3章 文化振興に関する茨木市の取り組み

### 1 多彩な文化芸術イベントの実施

茨木市美術展や生花展、写真展、現代美術展、茨木市吹奏楽団定期演奏会、新人演奏会、茨木市少年少女合唱団定期演奏会、邦楽名演会、和太鼓ビエンナーレ、茨木音楽祭、鼓動初めなどの多彩な文化芸術イベントを開催しています。



茨木市吹奏楽団

### 2 次世代を担う若者の積極的な育成

新人演奏会や若手芸術家の発掘・育成のためのコンテストの開催など、次世代の文化芸術の担い手となる若者の積極的な育成に取り組んでいます。



### 3 市民文化芸術団体との協働

多様な分野の市民文化芸術団体が多数存在し、市が主催する文化芸術事業の運営委託、文化芸術イベントの共催などを通じて、連携しながら共に茨木市の文化振興に努めています。



茨木市美術展



### 4 文化施設等の整備による活動支援

市内には文化芸術活動を行うことができる「場」として、市民会館や市民総合センター、生涯学習センターきらめき、公民館などの文化施設等が数多くあり、市民の活発な文化芸術活動を支えています。



## 第4章

# 文化振興ビジョンの理念とその取組の方向性

### 1 市民との協働による文化のまちづくり



#### [1] 市民の自発的な文化芸術活動に対する支援

市民の文化芸術活動を発表する場の提供や、公募型補助金交付・民間資金活用などを通じて、市民の文化芸術活動を積極的に支援します。

#### [2] 市民と文化芸術をつなぐ人材の育成

市民と文化芸術をつなぎ、協働を推進する核となる人材の発掘に努め、育成を推進します。

#### [3] 市内文化芸術団体間の連携の強化

市民による文化芸術団体が交流する機会を設け、相互に協力し合うことの出来る関係づくりを促進します。

#### [4] 産学官の連携による文化芸術活動の活性化

小・中学校、高等学校、大学などの教育機関や、地域経済の担い手である事業者などとのつながりを強化しながら、産学官が一体となって文化振興に取り組みます。

### 2 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり

#### [1] 誰もが文化芸術とつながる環境づくり

高齢者や子育て世代、若者、障害者、外国人など、さまざまな市民が文化芸術につながる環境を整えます。文化芸術事業の多言語対応やSNSを活用した広報などにも取り組んでいきます。

#### [2] いつでも・どこでも文化芸術にふれられる環境づくり

市民会館の代替施設や、既存施設の有効活用・再整備を含め、文化芸術活動に利用しやすい施設のあり方を検討し、計画的に整備を進め、文化芸術に取り組める環境を整えます。



## 3 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成

### [1] 文化芸術の教育現場における活用

学校教育を通じて、子どもたちが文化芸術にふれる機会・きっかけづくりの拡充を図ります。また、子どもたちの声を踏まえて、子どもたちの能動的な文化芸術活動を支援していきます。

### [2] 文化芸術の担い手の育成

芸術家が発表できる機会を設け、その活躍の場を広げることを支援するなど、芸術家はその才能を発揮できる環境を整え、我がまちから優れた芸術家を輩出することを目指します。

## 4 郷土への愛着心の形成



### [1] 歴史・伝統文化資源の保存・継承

先人から引き継いできた資源を今後も大切に保存・継承し、“茨木らしさ”を大切にする気持ち、茨木市への愛着を育みます。

### [2] 川端康成ゆかりの地であることの周知

子どもたちが川端康成作品にふれる機会をつくり、次世代に川端康成とのゆかりの深いまちであることを周知、継承していきます。

### [3] 姉妹都市等との文化交流

ミネアポリス市(米国)や安慶市(中国)、小豆島町、竹田市との文化交流を推進し、改めてふるさと茨木を見直す機会を作っていきます。

## 5 文化のまちとしてのブランド形成

### [1] 茨木らしさを活かしたブランド形成・発信

茨木童子の伝説や川端康成、歴史資源を活かして、文化資源のブランド形成に努めます。

### [2] 文化芸術を活かした誘客によるにぎわい創出

文化芸術を活用して市内外の人々の交流を促し、文化芸術によるにぎわいづくりにつなげていきます。



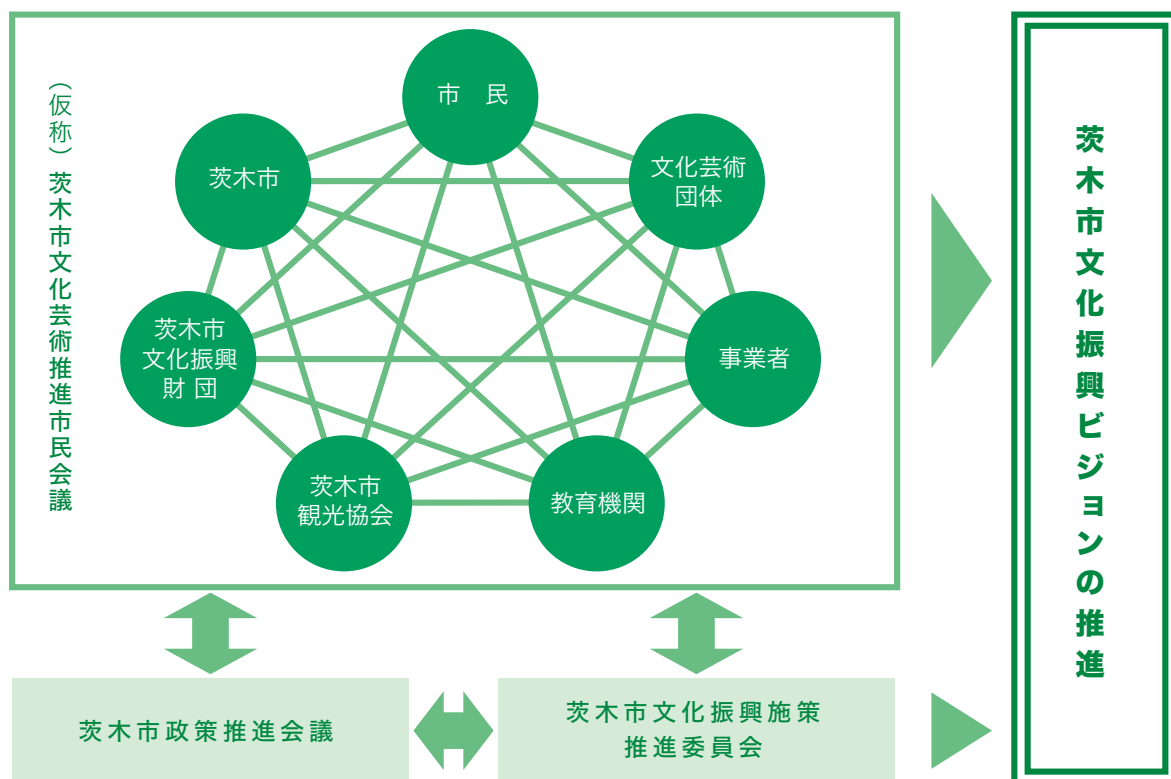
# 第5章 文化振興(ビジョン)の推進に向けて

本ビジョンは、市民や文化芸術団体、教育機関、事業者、茨木市文化振興財団、茨木市観光協会と市がそれぞれの立場において役割を担い、協働・連携することにより、その推進・実現を図ります。

## 1 ビジョンの推進に向けた体制

市民や文化芸術団体により構成される「(仮称)茨木市文化芸術推進市民会議」により、市の文化振興施策を推進します。あわせて、学識経験者等から成る施策の審議、評価を行う「茨木市文化振興施策推進委員会」を設置し、これらの組織を柱としてビジョンを推進していきます。

また、市では、教育、福祉、都市政策、産業などのさまざまな部門と協力・連携し、全市的な取組として文化振興施策を展開していきます。



## 2 条例・計画等の策定

本ビジョンの推進に向けて、文化振興に関する条例制定の必要性や効果等の調査、研究を進めるとともに、総合計画の実施計画において文化振興の推進に向けた事業を立案、計画します。

# 茨木市文化振興ビジョン **概要版**

平成27年(2015年)3月

茨木市 市民文化部 文化振興課

〒567-8505 大阪府茨木市駅前三丁目8番13号

電話 072-620-1810 ファックス 072-622-7202

E-mail [bunka\\_s@city.ibaraki.lg.jp](mailto:bunka_s@city.ibaraki.lg.jp)

